

北九州市が外部から人の流れを呼び込み、若者が市内に定住する街となる**決め手は「市内に魅力的なしごとがある」ことを若者に知ってもらうことではないでしょうか！**

上海事務所では、(北九州市立大の学生など)上海に留学している有為な若者と、中国に進出している地元企業との意見・情報交流会をやってみました。

この交流会で、参加した学生たちに中国にかかわる仕事をしたければ、市内企業で働くという道もあることを理解してもらうことができました。

平成 29 年 8 月 11 日

## 【第15回】『「そうだ！北九州で働こう！」交流会@上海』

をやってみました。

### 【今日のポイント】

- ◆ 北九州からの留学生 7 人と地元企業 5 社で、情報交換・交流会を上海でやってみました。
- ◆ 若者の地元定着には、「魅力的なしごと」があることが必須！それを学生にどう伝えるかが(難しいけど)重要。
- ◆ 学生はバイト、就活以外で社会人と知り合う機会は皆無。そんな機会を求めている。学生に地元企業を伝えるには、そこで働いている個人の生の声を聞いてもらうのが、(大変だけど)一番有効。
- ◆ 上海事務所では、今後(プチ)インターンシップのようなことを試行してみようと考えています。

### 1 市内大学生は卒業後どこに?? 若者定住に必要なことは??

右図は北九州市立大学の学生がどこに就職しているかということを示しています。だいたい 5 人に 1 人が市内で就職しています。市外出身の学生も多いので、この割合が多いかどうかは私には分かりません。

しかし、この割合をもっと増やして市内に残ってもらおうとすると、「市内に魅力的なしごとがある」ことを学生たちに実感してもらうことが何より重要です。

日本でももちろん学生向けの情報発信が積極的に行われています。今回は、市役所雇用政策課から資料提供を受けて、その上海版として、「中国でのしごと」を切り口に、北九州からの留学生 7 人と地元企業 (TOTO、安川電機、マツシマメジャテック、北九州銀行) 4 社の社会人 5 人で交流会をやってみました。

### 2 交流会での模様は??

交流会は、6 月 14 日に、安川電機 (中国) の本社会議室をお借りして行いました。

まず、社会人から、各社の中国での事業内容、個々の仕事内容について語ってもらいました。最初はなかなか盛り上がりませんでしたが、若手社員を中心に集ってもらい、社会人側で話しやすい雰囲気を作ってくれたこともあり、交流会後半には、学生側から、今の会社を選んだ理由や就活の心構えなど多くの質問がありました。

学生からは、在学中、バイト先以外の社会人と話すことはほとんどなく、今回のような機会はとても勉強になったとの声が聞かれました。今回の試みに学生たちは地元企業の上海での活躍に大いに刺激を受けたようでした。上海留学で身に付けたものを活かして、帰国後の地元での就活に活かしてもらえんと思えます。

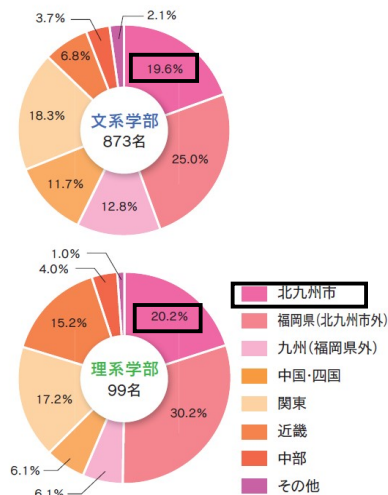
上海事務所でも、上海で行うイベントなどの際に、学生たちに(プチ)インターンシップのような機会を提供して、北九州市や地元企業の活動に触れてもらう機会を増やしていければと考えています。

蛇足ながら、私自身も、自分の仕事や上海事務所の活動を振り返る貴重な機会となりました。市民、市内企業にもっと役立つ上海事務所にならねば！と改めて感じた次第です。



最初は皆さん固かったですが、最後は打ち解けた雰囲気でのびのびと学びの多いひと時となりました。会場を提供いただいた安川電機様ありがとうございました！！

### 地域別就職先内訳(文系・理系別)



平成 27 年度の北九州市立大の就職実績 (同大学HPより)

